

第7回青森市統合新病院整備場所等検討会議 議事要旨

○日時 令和6年9月12日（木）17時30分～19時10分
○場所 リンクステーションホール青森（青森市文化会館）4階 中会議室

○出席構成員（6名）

青森公立大学経営経済学部 足達准教授、青森県建築士会 工藤副会長、
青森県立保健大学健康科学部 三好准教授、青森県不動産鑑定士協会 最上監事、
青森地域広域事務組合 村上消防長、青森市病院運営審議会 原子前委員

○欠席構成員（6名）

青森市浪岡商工会 一戸会長、青森商工会議所 葛西専務理事、
国立病院機構本部DMAT事務局 近藤次長、青森市農業委員会 福士会長、
青森市医師会 北嶋会長、青森市町会連合会 佐々木会長

※当日の会議を欠席された構成員の方々からは、個別に意見聴取を行いました。

○案件

（1）統合新病院の整備に望ましい場所について

（1）統合新病院の整備場所について

【浜田中央公園・県営スケート場周辺を検討対象地に加えることについて】

（足達座長）

- ・前回の会議で浜田中央公園・県営スケート場周辺を検討対象地に加えることについて、住民の意見を聞くというステップを設けて、その上で構成員の皆さんから最終的な御意見を伺うこととした。このことも踏まえて、市では、地域住民との懇談等を実施したと伺っている。この後行う事務局からの説明の際は、この内容にもふれながら説明をお願いしたい。

（今市民病院事務局次長）

- ・検討会議での御意見を踏まえ、また、地域の方々にお話する環境が整ったことから、浜田中央公園に関連する町会の方々にお集まりいただき、懇談させていただいた。いただいた御意見については、本日の資料1の各テーマの最後に掲載している。
- ・また、いただいた御意見については、すべて受け止め課題として捉え、地域住民の皆様から、より多くの御理解を得られるよう、県とともに丁寧に対応していくこととしている。

【テーマごとの論点整理】

（足達座長）

- ・資料2はこれまでの意見をテーマごとに整理している。新たに検討対象地に加わった浜田中央公園・県営スケート場周辺については、空欄の箇所もあるため、この空欄を埋めていくよう重点的に御意見をいただきたい。

（工藤副会長）

- ・青森市における県立施設の立地状況をみると、県立図書館や県立美術館は郊外に立地されており、宮田にある新青森県総合運動公園に関しても、ほぼ車を持ってない人は行けないような場所に立地されている。青森県は、全県の視点で考えているとは思いますが、青森市とのまちづくりが非常にずれているように感じる。例えば、県立美術館を中心市街地に立地していれば、十和田市や八戸市のようににぎわいが創出できたと思うが、そういうことは全く考えていない気がする。

今回は、県立中央病院と青森市民病院を統合するという形であるが、まちづくりの観点からいうと、より中心市街地に近い場所に配置することで、そこを核としたまちづくりが期待できるので、そういう観点から考えるべきではないか。

- ・浜田中央公園・県営スケート場周辺については、県営スケート場やサンドームの移転とセットの話であり、その移転先として青い森セントラルパークが挙げられている。しかしながら、県営スケート場やサンドームを青い森セントラルパークに移転するという話は全く議論されておらず、たまたま青い森セントラルパークが空いているので、そこに移転しましょうという話だと思う。また、八甲田大橋はもうほぼほぼ寿命で、いずれにしても架け替えする必要がある。青い森セントラルパークに県営スケート場やサンドームを移転するとなると交通渋滞の問題もあり、今回と同じ議論になるのではないか。新病院を建てるために、県営スケート場などを空いているセントラルパークに建てればよいというのは非常に乱暴であり、青森市のまちづくりに対して、本当に失礼な話である。

（三好准教授）

- ・資料1の36頁で、地域住民からいただいた意見への回答として、「地下に駐車場を作って、上を公園のまま残す」など公園機能を維持する方策が掲載されているが、どれくらいのお金が必要になるのか、また、そこにお金を掛けるのであれば、青い森セントラルパークへの新駅や自由通路の整備が現実的になる予算の組み方はできないのかと考えた。
- ・地域住民からの意見については、まちづくりや通院アクセスといったテーマごとに整理しているが、既存施設の解体や移転について、地域住民からどのような意見があったのか見えにくく感じた。

（原子前委員）

- ・浜田地区のスケート場周辺は、商業施設が多く、土曜、日曜、祝日は若い人達や家族連れなどでとてもにぎわっている状況がみられる。様々な施設を建てるのは大いに結構で

あるが、まちづくりの観点から考えると、地域の方や市民・県民が利用してこそその施設であり、利用することでまちの誇りにもつながっていく。この地区には、地域の方々が愛情をもって育ててきた施設や公園がある。そこは少し大事に考えていきたいと思う。

(村上消防長)

- ・旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地については、津波のことが気になる。発生の可能性が分かっているのであれば、そのリスクは避けるべきだと考える。
 - ・青森県総合運動公園については、浪館通りからのアクセスを考えると、踏切が2か所あり、緊急走行を停止してしまうリスクがある。また、その先にある変形の五差路は狭隘で渋滞の原因にもなっている。冬場は特に状態が悪く救急車両の走行は避けたい。
 - ・消防本部では、当初より救急搬送の観点から、病院のアクセス道路については、一つに、渋滞や狭隘というキーワードが合致しない状況であること、二つに、傷病者への影響を考え、路面状況のよい道路が敷設されていること、三つに、確実な除排雪の実施により搬送経路が確保されること、これらの3点を要望してきた。この点については、これまで市民病院事務局とも十分意見交換させていただいており、会議の場においても対策等が示されてきたところでもある。この対策等が今後具体的に進められる状況となれば、八甲田大橋からのアプローチ橋を設けずとも、救急搬送に支障は生じないものと考えている。
 - ・浜田中央公園・県営スケート場周辺についても、救急車のアクセスルートとして考えられる、県営スケート場東側市道の拡幅や環状7号バイパス交差点の安全対策が行われれば、病院のアクセス道路という点については問題ないと考えている。
 - ・第5回検討会議の場で、高速道路や国道など主要道路からのアクセスで道が込み入っておらず入口がわかりやすい方が望ましいという県内の各消防本部の意見が紹介されていた。この件について、青森消防本部以外の消防本部に確認したところ、令和5年における県立中央病院と青森市民病院への救急搬送のうち、青森消防本部以外からの救急搬送は361件であり、そのうち233件が転院搬送となっている。なお、この転院搬送は、他の病院に入院している患者を医師・看護師同乗のもとで両病院に移送する業務であり、救急搬送に当たらないものである。
- わかりやすく良いという意見も分かるが、青森消防本部が県立中央病院と青森市民病院に搬送している年間6,000件から7,000件の件数と比較してみれば、管内の緊急性が優先されるべきと考えている。なお、このことは青森消防本部と県域の消防本部との考え方が相いれないところと認識している。

(最上監事)

- ・旧県立商業高校及び県立中央病院敷地は、津波の被災エリアであり望ましい場所ではないかもしれないが、例えば、八甲田大橋の架け替えに100億円近く見込むのであれば、津波対策をしっかりと行った上で、病院を建てることをもう少し真剣に検討しても良いと思う。

- ・中心部といった交通量の多い場所への統合病院の整備は、更なる渋滞につながる。市民生活に支障を来してはならないし、ひいては救急搬送に影響が出ることはあってはならない。

(足達座長)

- ・まちづくりに与える影響として、青い森セントラルパークは「都市機能誘導区域」、浜田中央公園・県営スケート場周辺は「生活拠点区域」になっている。どちらも、商業施設や医療施設といった重要な施設の集積を図る区域であるが、青い森セントラルパークがある都市機能誘導区域は、ここに様々なものを誘導するための法律に裏付けられた様々な手段が用意されている。一方、浜田中央公園・県営スケート場周辺がある生活拠点区域は、青森市が独自に設定した区域である。

どちらも、都市計画上の位置付けは同程度かもしれないが、強いて言えば、都市機能誘導区域というのは、その重要性の意味では、少し上であると考え。

- ・圏域人口をみると、当たり前だが、5 km圏域では範囲が広がるため、4か所の差は小さいものになり、800 m圏域や2 km圏域では、青い森セントラルパークが一番大きく、次いで浜田中央公園・県営スケート場周辺となっている。

浜田中央公園・県営スケート場周辺は南の端ではあるが、圏域人口を比べると青い森セントラルパークとの差は小さい。

- ・各市民センター等からの到達時間について。このデータについては、市民の皆さんがどの辺に住んでいるかを当てはめながら確認いただければいいと思う。どこに住んでいるかによって違いはあるものの、こちらも青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺を比べると、やや青い森セントラルパークの平均時間が少ない。
- ・青森市民にとって考えたとき、浜田中央公園・県営スケート場周辺より青い森セントラルパークの方がよいと思う。しかしながら、浜田中央公園・県営スケート場周辺の圧倒的にいい点は、市外から自動車で来る際に、インターチェンジや環状通りの脇に位置することである。全県を考えた時と、青森市民にとってどうなのか考えた時によって、答えは変わってくるように感じる。
- ・第5回検討会議で示された資料によれば、令和3年度における両病院の1日平均患者数のうち、約83パーセントが青森市内からの患者とのことである。
考え次第ではあるが、青森市内からのアクセスを考えると、圏域人口などのデータが示すように、真ん中にある青い森セントラルパークがやや有利となる。一方、残りの約17パーセントについて、割合は少ないものの県民の病院であることから、インターチェンジの近くに立地するというのは、これはこれで合理的だと考える。
どちらが良いというのは、考え次第で変わってくるのではないかと。

【統合新病院の整備に望ましい場所について（構成員意見）】

(足達座長)

- ・これまでの意見を踏まえ、改めて、統合新病院の整備に望ましい場所について、順番に皆様の御意見をお聞かせいただきたい。

(工藤副会長)

- ・私は最初から青い森セントラルパークが良いと思っている。
- ・まちづくりの観点からいうと、より中心市街地に近いところに整備し、それを核にこれから発展していくと思う。青森市のまちづくりの核となる施設になると思うし、当然この場所に決まれば、駅の話も出てくると思う。
- ・セントラルパークにしても交通アクセスの問題があるため、その対策は必要。特に、南北の動線は必須であり、仮にこの場所に決まった暁には、十分検討していただきたい。
- ・浜田中央公園・県営スケート場周辺は、現在、既存の施設がある。改修することでまだ何年も使える建物を解体し、あおもりのまちづくりも検討しないまま新たな場所に建設するのは無駄であり疑問に感じる。

(三好准教授)

- ・浜田中央公園・県営スケート場周辺は現在有効活用されている施設があり、このことが他の3か所との大きな違いである。県営スケート場やサンドームといったかなり規模の大きい施設を解体し移転するところがあり、他の3か所と同じ土俵で比べるのは難しい。このエリアに県営スケート場など解体するものがなければここも良いとは思いますが、現実的にはそういうわけでもない。
- ・私は公共交通の通院アクセスの観点でみてきた中で、災害のリスクは承知の上で旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地が良いと思っていた。一方で、まちづくりの議論の中で新駅の設置が実現できれば青い森セントラルパークが現実的だと感じていた。
- ・しかしながら、現県立中央病院が移転した場合の救急病院の配置バランスや「災害対策を行った上で」といった本日の議論を踏まえると、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地をもう少し考えてもいいのかなと思った。青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺の2択であれば青い森セントラルパークと答えるが、この4か所の中では、総合的に見ると旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地が良いと考える。

(最上監事)

- ・青森市全体を見回してまちづくりを考えていくことが大事であり、現在の市の状況を見ると、西側は、新青森駅ができて、その後商業施設がいろいろ張りついてきている。南側は、旧イトーヨーカ堂周辺を中心に商業施設が張りつき住宅も増え人気のエリアになっている。一方、東側は、県立中央病院を中心にかつては良い時期もあったが、県立中央病院が南側に移転すると、東側の衰退が懸念されるほか、南側に病院まで整備するのはバランスを欠くのではないか。
- ・まちづくりの観点を重視しすぎるよりは救急搬送などを考えていくべき。交通量の多い場所への統合病院の整備は、更なる渋滞につながる。市民生活に支障を来してはならないし、ひいては救急搬送に影響が出ることはあってはならない。
- ・青い森セントラルパークについては、新駅ができる方向がはっきりしない限りは新駅をプラス要因とすべきではない。仮に新駅ができたとしても、線路の北側からのアクセスが確保されない状況では、中心市街地の活性化にもつながっていかないのではないか。

- ・加えて、青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺はともに、周囲に住宅が張り付いており、また、浜田周辺は国道7号バイパス南側の開発が難しいとのこと。薬局など付随する医療関連施設の広がりも難しいのではないかと。
- ・結論として、私は旧青森商業高校及び県立中央病院敷地が良いと考えている。
- ・統合新病院の利用者には平内方面からの方もおり、必ずしも中央インターを利用する方ばかりではない。そう考えると、現在の県立中央病院の場所もそう悪い場所ではないと考える。
- ・ここが整備場所になるのであれば、津波対策は万全にする必要があるということは、当然であり、例えば、八甲田大橋の架け替えに100億円近く見込むのであれば、津波対策をしっかりと行った上で、病院を建てることをもう少し真剣に検討しても良いと思う。

(原子前委員)

- ・望ましい場所について、どこが最適な場所なのか正直なところ迷ってしまう。
- ・自家用車を所有せず、通院などで病院を利用する場合、市営バスなど公共交通の利便性がとても重要な要素となる。浜田中央公園・県営スケート場周辺が提案されるまでは、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地が適当な場所だと思っていた。津波や洪水の心配はあるが、広い敷地と交通の利便性、救急搬送面での実績、周辺の環境や風景が良好で、極端に不適當な要素はなさそうに思う。
- ・青い森セントラルパークは、県の整備スケジュールでは、八甲田大橋の架け替えとアクセス道路の整備、また新駅・自由通路の整備は、統合新病院の開院に間に合わない見通しが示されており、現段階では不透明さが強く、とても現実的とは思えない。そして、県営スケート場一帯案は、周辺の交通渋滞の予想はあるものの、市営バスの利便性は良好と思われる。
- ・スケート場やサンドームの解体整備、新病院の工事がさくさくとスムーズに進む予感がする。統合新病院の開院を令和14年10月としつつも、期待感が持てる提案だと思う。
- ・利用者の方には不便をかけないように、移転先へのアクセスなど十分配慮してほしい。

(村上消防長)

- ・病院へのアクセス道路については、対策等が進めば、青い森セントラルパーク、浜田中央公園・県営スケート場周辺、どちらも問題ない。
- ・設置場所については、救急搬送を考慮すると市の各方面からのアクセスの良さや救急搬送にかかる時間とのバランスの視点から市の中心部への病院設置が望ましい。また、当署本部の管轄区域でもある東青地域全体の救急搬送の事情を見ても、搬送距離・搬送時間という点で、市の中心部にある青い森セントラルパークが有利ではないかと考える。
- ・救急搬送とは別に、火災等の対応を見ても、セントラルパークの方が中央消防署や東消防署といった市内の重要な消防署に近く、火災や救助といった救急以外の警防活動にも非常に迅速に対応できるという点で有利だと思っている。

(足達座長)

- ・4か所の中で青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺は甲乙つけがたく、強いて順番をつけるとすれば、青い森セントラルパークかなと考える。
- ・理由は2つあり、青森市の都市計画マスタープラン上、青森駅周辺地区などと同列の都市機能誘導区域という重要視された地区に位置づけられていること。浜田周辺も生活拠点区域に位置づけられているため悪い場所ではなく、その意味で甲乙つけがたい。なお、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地も生活拠点区域に位置づけられているが、浜田周辺の方が良いと考える。
- ・理由の2つ目はアクセス。青森市民に着目した場合にはあるが、セントラルパークの方が真ん中にあるため、やや圏域人口が多い。より広い範囲で見れば浜田周辺も同程度となるため、こちらも甲乙つけがたい。
- ・浜田周辺は現在利用中の施設を移転することから、利用できない期間をゼロにする事業スケジュールを保証してもらう必要がある。また、セントラルパークは渋滞が指摘されており、道路拡幅といった対策が必要である。双方とも心配なところがあるので、その手当はきちんとやっていただきたい。
- ・大きな病院を整備するからには、そこに行くための公共交通もきちんと整備すべき。誰でも使える交通手段は公共交通しかないので、そこは減便を気にするのではなく充実させていただきたい。短期的にはバスだが、長期的には鉄道の新駅であり、市外からやってくる方に意味のある手当だと考える。

■個別意見聴取

(一戸会長)

- ・海の近くにあると、津波が来たとしても、その後片付ければ海を交通網として使えるという利便性があると考え。また、現在の県立中央病院を基点として、さまざまな形での交通網ができています。
- ・これらのことから、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地が良いと感じる。
- ・浜田中央公園・県営スケート場周辺が整備場所となり県営スケート場を移転となった場合には、集客力を高めるためにも国際スケートができるようなスケート場を整備してほしい。

(葛西専務)

- ・青森市の立地適正化計画上は、青い森セントラルパーク、浜田中央公園・県営スケート場周辺ともに、区域の位置づけは異なるが、医療施設立地の適地と評価できる。ただし、まちづくりの観点から、将来的に青い森鉄道駅が設置された場合には、人口減少、超高齢化社会において社会資本の有効活用が可能となるので、青い森セントラルパークへの立地は、メリットも多いと考える。
- ・救急搬送、通院アクセス、災害リスクなど各検討項目、論点については遜色ない事項やメリット・デメリットが交錯している事項も多いことから双方のエリアにおける優劣の評価は難しいと考える。

(近藤次長)

- ・浜田中央公園・県営スケート場周辺について、代替の避難所が確保されるということをお話させていただくと、浜田中央公園・県営スケート場周辺の方が、想定最大規模における洪水浸水想定区域の端寄りにあること、また、全県的な災害対応を考慮すると、高速道路に近接している立地は利点になることから青い森セントラルパークより有利だと考える。
- ・しかしながら、整備スケジュール比較をみると、浜田中央公園・県営スケート場周辺は県営スケート場の解体工事を前提としており、現在の経済状況や工事の状況を考えると、スケジュール通り進むのか、2年3年も遅れてしまわないのかという懸念があり、青い森セントラルパークの方がスケジュール感は確実だと考える。
- ・災害リスクを考えると現病院のままで対応せざるを得なくなるということが一番のリスクであるため、災害の観点と整備スケジュールの観点をどのように捉えるのか、そこは総合的な判断になると考える。

(福士会長)

- ・災害時のことを考えると、青森県総合運動公園が良いと思っているが遺跡の問題が気になる。この検討会議は青森市のまちづくりの観点から整備場所はどこが良いのか検討する会議であり、この観点から相対的に考えると、青い森セントラルパークが適していると考え。

(北嶋会長)

- ・まちづくりの視点ではなく、病院機能を一番に据えどこに病院を作るのが良いのかを考えるべき。要は、アクセスが良く、きちんと救急搬送を行うことができることを重視すべきであり、また、統合新病院は、市民病院の機能に加え、全県から患者さんが集まるということも考慮しなければいけない。
- ・青い森セントラルパークは、冬場の道路環境や渋滞が問題で救急隊も大変になるのではないかと。立地的にも南側一方のみのアクセスとなり、救急を掲げる病院としてはその点が弱点に感じる。確かに新駅の設置により通いやすくなる人もいるが、救急車での搬送を考えると、車でのアクセスを考えないといけない。
- ・浜田中央公園・県営スケート場周辺は、旧イトーヨーカ堂の通りは混雑しているが、全県からの救急搬送を考えると、高速道路に近いことが大きな利点と考える。
- ・敷地面積についても、降雪や患者・職員の駐車場を考えると、少しでも広い方が良いと考える。
- ・以上のことから、青い森セントラルパークより浜田中央公園・県営スケート場周辺の方が理があると考え。
- ・なお、統合新病院の機能上、ドクターヘリは必須であるが、住民からの反対で使用できない例もあるため、住民からの意見は聞いていく必要がある。
- ・また、医師会とすれば、新病院がどこにできたとしても、新病院の傍にウォークインを診れる急病センターを作って、救急の負担軽減につながるよう手伝いたいと考えている。

(佐々木会長)

- ・ 青い森セントラルパーク周辺の渋滞や除排雪を懸念する声もあるが、浜田中央公園・県営スケート場周辺も国道7号バイパスは通勤ラッシュ時に渋滞しており、渋滞に対する懸念は双方同じと考える。その点は整備場所が決まった後に対策を練って渋滞解消に努めていけばよいものと考えている。また、除排雪についても、新病院整備に伴ってどこであっても徹底するとのことであるので、除排雪に関する課題も解消されると考える。
- ・ これらを踏まえると、私としてはコンパクトなまちづくりや救急搬送の観点から青い森セントラルパークの方がよいと考える。